

前回交通会議でのご指摘と対応方針

下野市地域公共交通会議

1. これまでの経緯 P1
2. 第2回交通会議での主な指摘事項 P2
3. 第3回交通会議での協議のポイント P3

1. これまでの経緯

下野市地域公共交通会議

- H21年度より下野市内における公共交通のあり方を検討する委員会や交通会議を設置し、バス、タクシー等のサービスに関して議論をしてきた。
- 人口減少や少子高齢化が進展する中、既存の鉄道や路線バス等の利便性や効率性の向上を図るとともに、高齢者等の交通弱者を対象として運行しているデマンドバスを含め、公共交通システムの検討を行い、まちづくりと一体となった持続可能な地域公共交通ネットワークを再構築する必要がある。
- 「下野市地域公共交通総合連携計画」が令和2年度で終了を迎えることから、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号、以下「法」という。）に基づき、「地域公共交通網形成計画」（以下「網形成計画」という。）の策定を実施する。

令和元年度に各種調査を実施のうえ、課題と方針の整理結果を踏まえ、網形成計画（素案）を策定する。令和2年度にパブリックコメント等の結果を反映し、網形成計画（案）を国に提出

現状把握
調査実施準備

調査実施
結果とりまとめ
基本方針検討

網形成計画
（素案）

4月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

第1回（4月）

- ・下野市地域公共交通網形成計画について
- ・2019・2020年度計画について
- ・1市2町公共交通広域ネットワークについて

第2回（7月）

- ・現状整理結果
- ・調査実施内容
- ・今後のスケジュール

各種調査の実施

- ・市民アンケート
- ・乗降調査アンケート
- ・高校生、企業アンケート

第3回（11月）

- ・ニーズ調査等の分析結果報告
- ・網形成計画素案（方向性）の提示

第4回（1月）

- ・網形成計画（素案）の提示

第5回（2月）

- ・網形成計画（素案）の確認
- ・次年度のスケジュール確認

2. 第2回交通会議での主な指摘事項

- 令和元年度第2回交通会議での指摘事項と対応方針は下記のとおりである。
- ・デマンドバス利用と検討課題等について意見を多く頂いた。今年度の検討において意見を反映させていく。
 - ・市民アンケート、各種調査に対する意見は、調査票等に反映させた上で、調査を実施した。

主な指摘事項（赤字はご指摘を踏まえた対応方針）※指摘は抜粋して記載

■「平成30年度 デマンドバス利用状況等」について

（笹川委員）年齢区分別登録者数について、母数を把握することで市全体のボリュームを知ることができるので、確認していただきたい。→下野市における年齢区分ごとの事項を整理し、並列で提示することでボリューム感を確認して頂けるよう計画内で整理する。

（坪内委員）高齢者だけに対して考えるのではなく、全市民に対して同じ様に考えて検討を進めていただきたい。→小学生の場合、学習塾・習い事等の利用も見られる。予約方法等の見直しも検討する。

（太田委員）1市2町公共交通広域ネットワークとの位置づけも整理していただきたい。→網形成計画において東西軸の一部として位置付ける。関東自動車が利用者数を集計している。ある程度、利用が落ち着いてきた時点で、1日あたりの利用者数や平/休日の利用者数の差異などを確認する。

■「下野市デマンドバス検討課題」について

（坪内委員）下野市には立地適正化計画が策定されていて、この計画に示されている3駅に関わる誘導施設に沿った公共交通バスやデマンドバス・タクシーを考えていく必要があると思う。→立地適正化計画で提示されている土地利用計画も参考にしつつ、公共交通バスやデマンドバス・タクシーの役割を網形成計画で整理する。

・他の市町、小山市（おーバスが小金井駅、栃木市まで運行している）、栃木市、壬生町、上三川町などと融合して有機的な連携が必要と思う。→1市2町広域連携バスを代表として、利用者確保しつつ、その他市町との連携についても模索する。

・デマンドバスの利用客を増やすためには、利便性を高めることが必要。→配車の方法やエリア分け、運行台数についても検討を進める。

（太田委員）①ニーズ調査の提案：デマンドバスの利用率を上げ同時に利用料と経費との差の縮小を図るために、きめ細かなニーズ調査をして改善を図ってはいかがだろうか。そして、この調査には地域の実情に通じている民生委員の力をお借りして把握するのがベターだと思う。→貴重なご意見を頂いており、これらの意見は参考とさせていただく。現在、配車の方法やエリア分け、運行台数について、検討を進めているため、その結果を踏まえつつ、さらに意見を確認していく必要があるれば、提案頂いた追加調査を実施する。

②工夫について、サービスの向上と利用料と経費との差を縮小する一助として、市民等の寄付等による「デマンドバス運行基金（仮称）」の創設を考える。→基金の部分は、ふるさと納税から使い道を公共交通維持のような観点で確保していくなど、市役所内でも検討を頂く。利用者確保していくためには、自家用車を控え公共交通利用を啓発することも必要であり、デマンドの利用方法周知等も含めモビリティ・マネジメントの観点で施策を検討していく。

■「移動に関する市民アンケート調査票」について→料金や高齢者の移動ニーズ等を把握する設問等の追加に関して、指摘を頂いた。調査票にこれらの意見を反映させ、市民アンケートを実施した。（指摘を多数頂いたが、詳細の記載は割愛する。）

3. 第3回交通会議での協議のポイント

○令和元年度第3回協議会では、頂いたご意見を踏まえ、計画の位置付け、各種調査結果の情報提供・共有、公共交通の現況と課題、今後の進め方を確認する。

項目	協議内容・資料内容	
①前回交通会議でのご指摘と対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経緯 ・ご指摘と対応方針 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回交通会議での主な指摘事項 ・令和元年度第3回協議会での協議のポイント
②計画の位置付けについて	<ul style="list-style-type: none"> ・上位計画・関連計画 ・計画の位置付け 	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木県、下野市において、各種関連計画が策定状況 ・各計画との関係性について
③各種調査結果について	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の全体像 ・住民アンケート調査結果 ・高校生へのアンケート調査結果 ・企業アンケート調査 ・路線バス利用実態調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種調査結果 ・路線バス利用実態調査 ・調査結果を踏まえた公共交通に係る課題
④下野市を取り巻く公共交通の現状と課題について	<ul style="list-style-type: none"> ・下野市の現状 ・公共交通の現状 ・現状と課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・対策検討箇所、対策未検討箇所の検討の進め方 ・合同現地調査の実施の提案
⑤その他	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通網形成計画策定 ・協議会の実施予定